

(様式第3号)

令和8年1月19日

「米原市子ども読書活動推進計画（第4次計画）（案）」についての米原市パブリックコメントに対して提出された意見等と
その意見等に対する市の考え方および検討結果について

案 件 名： 米原市子ども読書活動推進計画（第4次計画）（案）

意見募集期間： 令和7年11月26日（水）～令和7年12月26日（金）

所 管 課： 教育部 生涯学習課（図書館）

NO	提出された意見等の内容	提出された意見の数(人数)	意見等を受けて市が検討した結果	意見等に対する市の考え方
1	第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ③小学校での取組（p21） 学校で空いた時間に本を読む時間を作れば良いと思う。	1件 (1人)	案のとおりとします。	p21の「朝読書等」の取組のとおり、課題が終わった後や空いた時間に本を読むなどして、読書をする習慣を作っていきたいと思います。
2	第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ③小学校での取組（p21） 学校のテレビで読み聞かせを流すが良いと思う。	1件 (1人)	案のとおりとします。	現在も各学校で様々な読書の取組を行っているので、御意見を参考に、今後も引き続き取り組んでいきます。
3	第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤小学校での取組（p21） 小学校の朝の時間に、絵本の読み聞かせではなく、長い本のあらすじを読んでほしい。	1件 (1人)	案のとおりとします。	本の読み聞かせやブックトーク（テーマに合わせた本のあらすじなどの紹介）等で、いろいろな本と出会う時間があるように工夫していきたいと思います。

4	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館は、読書だけでなく、疑問や課題を解決し、そのための力を養う「学び方を学ぶ」ところでもある。読書は楽しみのためだけでなく、知識を得るため、課題を解決するヒントを得るためなど様々な目的があり、そこをもっと広く捉えた方が良いと思う。</p> <p>その上で、学校では様々な教科や単元で学校図書館を活用し、子どもたちにいろいろな情報収集の手段があることを教え、情報活用を力を育てることが大切ではないか。</p> <p>そのためにさらなる学校司書配置の促進や、学校図書館資料の増額が望まれる。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	<p>案のとおりとします。</p>	<p>御指摘のとおり、学校図書館は読書だけでなく、学習センター・情報センターとしての役割も重要なものです。教科学習における学校図書館の活用や先生・学校司書による助言等により、子どもたちが必要な情報を収集し活用する力を養っていきます。学校司書配置の促進や資料費の増額は p 22 「学校図書館の整備充実」「学校司書の配置」に含め、学校図書館の読書環境の充実に引き続き努めます。</p>
---	--	----------------------	-------------------	---

5	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>子どもたちが本に親しむためには、学校図書館の存在が欠かせない。市内に気軽に行ける書店もなく、特に公共図書館から遠く離れている学区では学校図書館だけが本と出合える場所である</p> <p>学校図書館の整備が進み、蔵書も増えてきたが、学校図書館の狭さと学校司書の勤務時間の少なさという問題はまだ残っている。物理的な狭さはすぐに改善できるものではないが、学校司書の勤務時間を増やすことも計画の中に盛り込んでほしい。常勤フルタイムとは言わないまでも、子どもたちが学校にいる時間帯は常に学校司書が学校図書館にいることが大事だと思う。</p> <p>また長期休暇中に学校図書館を開館して子どもたちが自由に利用できたり、図書館整備や本の修理、教員との意見交換や研修などができるような体制を作るなど、もっと具体的な内容にしてほしい。</p> <p>ボランティアの人材確保やスキルアップを掲げる前に、学校司書の配置時間の増加、人材確保やスキルアップについての記載をするべきではないか。</p>	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	御指摘のとおり、子どもたちにとって学校図書館は最も身近に本に親しめる場所です。学校図書館の運営にあたっては、学校図書館長としての役割も担う校長のリーダーシップのもと、司書教諭・図書主任・学校司書が職務を十分に果たすことができるよう、その役割等について理解を図り、教職員の協力体制の確立に努めます。
---	---	--------------	------------	--

6	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校司書の配置とスキルアップが重点事項になっているが、具体的に今後どのように展開していくのか。</p>	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	引き続き全ての小中学校に学校司書を配置するとともに、研修や情報交換の機会の確保と充実に努めます。
7	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校司書による本の紹介の項目で、「学校司書のスキルアップを図ります」とあり、継続事項となっているが、学校司書の専門性を高めるためには、滋賀県が主催で行う専門研修などへの参加を勤務として進めることも検討してほしい。継続ではなく、改善に変更を希望する。</p>	1 件 (1 人)	御意見いただいた箇所について、「継続」から「改善」に変更します。	学校司書の配置日数や学校での業務を考慮した上で、定期的に学校図書館研修会を行うなど、研修や情報交換の機会の充実に努めます。
8	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>小中学校毎に配置されている学校司書の仕事内容に、もっと具体的な指導計画があるといい。こういった読書活動を目的に、学校ではどのように教育するのか、公共図書館はそれをどうサポートするのか、具体的な目標を掲げるといいと思う。</p>	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	学校図書館教育全体計画や年間指導計画の充実に努めるとともに、引き続き米原市教育委員会と学校、公共図書館が子どもたちの読書環境の充実に向けて連携していきます。

9	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校の図書館に司書を置いてほしい。また司書が児童生徒たちと親しくなれるようにしてほしい。私の息子は読書は苦手な方で、親が勧めた本は読まない一方で、担任の先生（読書好きな方）が勧めてくださる本は喜んで読もうとするようになった。</p> <p>信頼している大人の方から勧められる本は、子どもにとってはとても興味が湧くようである。</p> <p>学校図書館の司書と子どもたちの交流の充実を望む。</p>	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	市内すべての小中学校に学校司書を配置しています。子どもたちが多種多様な本と出会い、読書の幅を広げていくためには学校司書や先生等の協力が不可欠ですので、今後も学校司書の配置を継続し、本の紹介等を行っていきます。
10	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館に関する記述について、司書教諭についての記述が見当たらない。12 学級以上の学校については配置されているはずで、11 学級以下にも配置を進めていく方向であるものと認識している。</p> <p>学校図書館法において、学校図書館の専門的職務を掌らせるために置かれるべき司書教諭についての記述もあることを希望する。</p>	1 件 (1 人)	御意見いただいた箇所について、「図書主任・学校司書の連携」（p 23）「図書主任、学校司書との連携」（p 25）に司書教諭の記述を追記します。	米原市では 12 学級以上の学校で司書教諭が配置されており、図書主任と兼務している学校もあります。今後も司書教諭・図書主任・学校司書等が連携し、子どもたちの読書活動を推進していきます。

11	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館に新しい本をもっと入れてほしい。 （世界史・科学の本・動物の本・美術、マンガ・イラスト解説・なぞなぞ・文学・高校の教科書・遊び心のある本、少し難しい本、高学年向けの本、文章を読むのが苦手な人が読みたいと思える本）</p>	<p>1 件 (7 人)</p>	案のとおりとします。	いくつかの学校では、子どもたちの意見を取り入れて選書を行っています。今後も計画的に新しい本を学校図書館に入れるとともに、市立図書館とも連携して団体貸出等を活用し、新たな本と出会う機会を充実させていきます。
12	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館の本の種類（ジャンル）を増やしてほしい。本の種類を増やすことで、より多くの人に読んでもらえる。（美術・科学・化学・歴史・百人一首・マンガ・小説・イラスト・ゲーム攻略など）</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	司書教諭や図書主任、学校司書が子ども達の興味関心や学習内容に応じて本を選定しています。今後も子どもたちが様々な種類の本と出会えるように配慮して本を選定していきます。
13	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館で貸出禁止の本が多い。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	調べ物で使う本は、みんなが学校図書館で調べ物をするときに使えるように、貸出禁止の本が多くなっていますので御理解ください。
14	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館に、勉強に使える本を置いたら借りる人が増えると思う。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	学校図書館には、学習の役に立つ様々な種類の本も置いていますので、御利用ください。

15	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館の本は、デジタルだと目が疲れるし、読みにくいので、紙の本がよい。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	学校図書館では紙の本を中心に置いて皆さんに読んでもらえるようにしていますので御利用ください。今後も子どもたちの親しみやすい本を選んで学校図書館に入れていきます。
16	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館のことについて、子どもの意見を聞いてほしい。 （意見を書けるボックスを作る、リクエスト本のボックスを作る、おすすめの本のアンケートを取ったうえで、学校図書館に本を置く）</p>	<p>1 件 (3 人)</p>	案のとおりとします。	いくつかの学校では、子どもたちの意見を取り入れて選書を行っています。これからも子どもたちや先生の意見を聞いて、より良い学校図書館を目指していきます。
17	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館の本を見やすくしてほしい。 （小説を見やすいところに置く、本棚を整理して、本が置いてある場所を見やすくする、学年ごとにコーナーを分ける）</p>	<p>1 件 (3 人)</p>	案のとおりとします。	学校司書が中心となって読書や学習で使いやすいように、学校図書館の本や棚を整理しています。今後も皆さんの声を聞きながらより良い学校図書館を目指していきます。

18	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館の貸出期間を延ばせるようにしてほしい。</p>	<p>1 件 (2 人)</p>	案のとおりとします。	<p>みんなが読みたい本を読めるように、それぞれの学校で借りられる期間が決められています。借りた本をもう少し読みたい時は、学校司書や図書委員に貸出期間を延ばせるかどうか聞いてみてください。</p>
19	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館の本を検索できる機能がほしい。</p>	<p>1 件 (3 人)</p>	案のとおりとします。	<p>自分で検索することはできませんが、学校図書館にあるパソコンで本を検索できます。学校司書や図書委員に聞くと、本があるか検索して探してもらえます。</p>
20	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館が静かな場所だと入ろうと思えないので、行きたくなるような明るい雰囲気にしてほしい。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	<p>休み時間等の利用を呼びかけて、多くの児童生徒が利用する学校図書館を目指します。また、図書主任や学校司書が中心となり、引き続き使いやすく利用したくなる学校図書館にしていきます。</p>
21	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>小学1年生から中学3年生まで、学年別のおすすめ本の紹介をしてほしい。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	<p>先生や学校司書、公共図書館が連携しておすすめ本の紹介を行っていますが、今後もそれぞれの年齢に合わせた本を紹介し、子どもたちが様々な本に出会う機会を増やしていきます。</p>

22	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策</p> <p>⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校図書館で、おすすめの本を交流し合う時間を作るといいと思う。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	現在も各学校で様々な読書の取組を行っているので、今後も先生のおすすめ本や子どもたち同士のおすすめ本を紹介する機会を作っていきます。
23	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策</p> <p>⑤学校図書館での取組（p 22）</p> <p>学校の授業で本を読むといいと思う。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	いくつかの学校では並行読書として、授業に関連する本を紹介して読む時間を作っています。今後も授業でいろいろな本を読む機会を増やしていきます。
24	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策</p> <p>⑥市立図書館での取組（p 24）</p> <p>図書館を使った子どもの調べ学習にもっと力を入れてほしい。</p> <p>毎年、調べる学習コンクール 図書館を活用した全国コンテストが開催されている。東京の板橋区や墨田区の図書館では独自の調べ学習コンクールが実施されている。このような活動を米原市でも実施し、拡大していけば、読み解く力の教育につながるのではないかと考える。近年、インターネットでの調べ学習もすすめられているが、低中学年には難しく、大人の手を借りなければできないことが多い。情報リテラシーの教育という面でも行き届いているとは思えない。読み解く力がつければ、自然と読書にもつながるのではないか。</p>	<p>1 件 (1 人)</p>	案のとおりとします。	p 25 の市立図書館での取組における「イベント等の開催」の中で、子どもたちの読書意欲や調べる力を促進する取組を実施します。

25	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑥市立図書館での取組（p24）</p> <p>団体貸出制度はとても良いと思うのでぜひ継続してほしい。子ども食堂などの地域の子どもたちの居場所に団体貸出の本が置いてあれば、子どもたちが定期的に新しい本に触れることができると思う。その際、図書館司書に選書のアドバイスなどをいただけるとありがたい。</p>	1件 (1人)	案のとおりとします。	市立図書館の団体貸出は、子ども食堂でも御利用いただけます。今後も引き続き団体貸出の周知に努めるとともに、地域と連携して、子ども達が読みたい本・読んでもほしい本が身近にある環境を整え、読書活動の推進に努めていきます。
26	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 ⑥市立図書館での取組（p24）</p> <p>読書環境が大切だと感じており、身近に本が家にある、学校にあるという環境設定を整えてあると思う。図書館での学習において、禁止されているが、禁止する必要性がわからない。環境という意味で、わからないことや関連する事が本で調べられることもできる。そこで学習ができないということは、図書館が行きにくい場所であることにつながるのではないかと感じる。むしろ、図書館で学習する利点(集中できたり、他の本を読む機会の増加など)のほうが、子どもたちも含めてかなり高いのではないかと。</p>	1件 (1人)	案のとおりとします。	図書館内で図書館の資料を用いない自主学習のみお断りしているのは、座席数に限りがあるため、本来の目的である図書館の本を用いた学習ができなくなる恐れがあるためです。自主学習については、同施設内にスペースを定期的に設けておりますのでご利用ください。なお、御意見のように図書館の本で調べられる場合は、図書館内の座席をご利用いただけます。運用の周知が不足しているため、今後も周知に努めます。

27	<p>第5章 指標の設定（p28）</p> <p>学校の図書購入予算が十分でない場合、レファレンスツール（百科事典、図鑑、年鑑など）が整備できていない場合がある。</p> <p>蔵書の充実に関して、貸し出し冊数のみを指標にするのではなく、学習センター、情報センターとして機能できる蔵書構成であるかという視点も含めて検討していただきたい。</p>	1 件 (1 人)	<p>指標につきましては案のとおりとしますが、p22「学校図書館の整備・充実」の内容を修正します。</p> <p>「学校図書館が読書センター・学習センター・情報センターとしての機能を果たせるように、蔵書の充実、より効率的・効果的な環境の整備を進めます。」</p>	それぞれの学校において必要とされる資料を収集し、読書センターだけではなく学習センター・情報センターとして活用できる蔵書構成を目指していきます。
28	<p>本屋を近くに作ってほしい。</p> <p>本屋には新しい本があるけれども、学校図書館には新しい本がない。</p>	1 件 (3 人)	案のとおりとします。	図書主任や学校司書が中心となって毎年新しい本を選定し、新しい本を分かりやすく並べて紹介しているので御利用ください。今後も学校図書館の本を充実させていくほか、学校図書館や市立図書館、おはなしボランティア等が連携して、身近なところに本があり、いろいろな本と出会える環境を整えていきたいと思います。
		28 件 (13 人)		